

夢窓幼稚園通信第48号

2020年11月30日

朝方 仕事をひと区切りして ゆゆの部屋を出ようと扉を開けると、ヤモリが飛び込んできました。

手の平にのせて 少しおしゃべりしようと思いましたが くつ箱の下にもぐりこんで出てきません。残念ながら おしゃべりはできませんでした。

外に出たいといけなないので 扉を少し開けたままにして下に降りましたが、空に残って光っている星が「おはよう 新しい朝だよ」とあいさつをしてくれているような気がして、そのとき「あー、ヤモリも夜中もしかしたら見守ってくれていたのか」と思いました。

家を守ってくれるということは、人を守ってくれるということですね。今年もたくさんのものたちに守られ ここまできたのでしょうか！

先日『チコちゃんに叱られる』で、マツタケはなぜ高価なのかが取りあげられていました。

マツタケは 枝や落ち葉が盛りあがった地面では 微生物や菌で栄養が豊か過ぎて育たないそうなのです。マツタケが高い理由は「プロパンガスが普及したから」なのですが、1950年代干しいたけより安かったマツタケが60年代に薪を燃やして燃料や暖をとっていた生活が急激になくなり人が山に入らず枝葉が堆積しマツタケが育たず高値になった訳が「プロパンガス」というのです。「おじいさんは山へ柴刈り」がお話ではなく、生活そのものであり与えられていた多くのひとつの象徴だったのです。

厳しい時代ですが、今年も 私たちはたくさんのものを与えられてきた生きかされてきたのだと思います。

先日ツアアの皆さんから 子どもたちに絵本が届きました。また環境美化活動として 気持ちのいい部屋や庭の環境、そして育ちを感じられる野菜・花のプランターをいただきました。

昨日は1年生の子どもたちとお家の方が50人ほど おいでになり、子どもたちの絵の表示と共に「めぐめぐのはな」のプランターを春に向けてしつらえて下さいました。

たくさんのものを、思いをよろこびを...いただいた「私」は、何かに誰かにあたたかいものを届けられるでしょうか。今年もあとひと月、これまでの時の意味を思いかみしめながらクリスマスに向けて 真心でお返しができると思います。

園長 升光 泰雄